

寺子屋ふれあい通信

寺子屋いまむかし

理事長 金子正男

私たちのとつもん寺子屋は先生「師匠」一人に子ども「寺子」二人か三人という組合せて勉強していますね。

江戸時代1850年ごろ群馬県赤城山のふもとに十九庵「つくもあん」という寺子屋がありました。その師匠、船津伝次平は、教育は一人ひとりの子ども個性や発達段階に應じなければならぬと言っています。

30人ぐらゐの寺子がいだ九十九庵では、年齢、学習進度、子どもの必要性に根ざし、教育内容に応じた個別教授が中心でした。封建制、身分制の性格が濃い時代の社会でしたが、師匠は当時としては大変進んだ考え方で寺子屋教育を35年間続けました。

とつもん寺子屋も少人数で師匠と勉強出来ますから、どうぞ師匠を頼り、しっかりと向き合って勉強して下さい。

第七号
2017.12.15
発行 稲門寺子屋西東京
題字 金子正男



F子さんへの返信
親は子に

どう向き合おうのか

副理事長 山本孝之



F子さんは私の知人の娘さんで、中学一年生の男の子、小学三年生の女の子のお母さんです。

F子さんは税理士の資格も取り、張り切って生活されていますが、お子さんの育て方について先日ご相談を受けました。

お手紙を拝見しました。端(はな)から嫌味を述べるつもりはありませんが、子どもは親が願った通りに育つと言われます。

息子さんの成績が振るわす、無気力で土・日曜日には、一日中、家でテレビとゲームに明け暮れているとか。口も利かず寝ころんでいる息子

さんにじっと我慢してきたという内容ですね。

息子さんは、反抗的になっているのか、あるいは、小さいころから母親が何でもやっけてあげたのが仇(あだ)となって、自立する心を奪ったのかもかもしれませんね。

お手紙の中で、小学生の時野球部に入りたいという息子さんにバイオリンにしようと言っていて押し付け、三か月ぐらゐしか続かなかつたと嘆いていますね。子どもには自分で選ばせる主体性を育てる大切さに気付いていないのではないのでしょうか。

十八世紀、フランスにルソーという作家・思想家がいました。『エミール』という教育小説を書きました。その中で、人の子を育てる上での含みある言葉を述べています。

「手をかけ過ぎずに、子どもが内部にもっている力を引き出すようにすればいい」

英語の education(教育)にも「引き出す」という意味がありますよね。

私は仕事柄、親子面接を多

くする機会があります。その時の典型的風景を二つのパターンに分けて紹介しましょう。

(1)「ご自分の子どもへの質問に対して、母親がすべて答えるのです。」

子どもの積極性、主体性を奪う行いですね。

しかも「勉強せよと言っても、やらないんです。だから先日、つい手を挙げてしまいました。」

反抗心をかき立て自信喪失を招く行いです。

(2)「夜おそくまで勉強しないで早く寝なさいね」と言う「ほく」のことはほくに任せてください」と言うのです。この親と子の会話に「勉強せよ!」は一度たりともなかったといえます。

自発力こそ子育ての重要な力だろつと思えます。

F子さん、あなたはどちらのタイプに属しますか。

戦後の教育史に無着成恭先生がおります。子どもたちに、日々の生活実感から率直な作文を書いてもらおうというつづり方教室を広めた人です。『山びこ学校』の主宰者ですよね。

この文集の中に見られる

のは「苦労してほくたちを育ててくれるお母さんについてか楽をさせてあげたい」とか「私が大きくなつたら、お母さんにおいしいものをお腹いっぱい食べさせたい」という思いが切々とつづられているのです。つまり、親への感謝の気持ちや思いやる心こそ子どもたちを成長させるのです。(次頁続く)



- 夏休み自立学習教室・・・2
- 新任の先生より・・・2
- 生徒の英作文・・・3
- 生徒の声「先輩から」・・・4
- 指導者勉強会・・・4
- 授業風景・・・4

右脳だとか、やれ左脳教育だという知識獲得の技術論よりももっと重要なことがあります。それは

《グリット精神》

(Grit spirit)です。親は極力、子どもが自分の意志で行動するのを待つことだと思えます。待つことも、教育の重要な要素だと思つたのです。自分の意志で行動できる子。へこれない心をもつ子です。私はグローバル社会に主役として登場するのが、このグリット精神だろうと思えます。そのためにも周りの人にあるがとつた気持ちを持ち、毎日学習の努力を続ける子になってほしいのです。親はそういうわが子に必要に応じて、手を貸して見守ってあげればいいのだと思います。F子さん、参考にになりましたでしょうか。



夏休み自立学習教室

大きな成果を得る

理事・指導者 竹森英次

生徒の75%が参加

今年も、夏休み終盤の8月24日～30日(27日は休み)に田無総合福祉センターで自立学習教室を開設しました。

昨年は、1講座のみで、小学生は算数、中学生は英語か数学いずれか選択の形態で実施しました。

今年は、前半(16:00～17:20)、後半(17:40～19:00)の2講座を設け、国語・算数、英語・数学と受講科目の選択幅を増やし、2科目を受講できるようにしました。

初めと終わりに同じテストを行い、学習効果を測定

初日に、前学年から1学期までの重要単元の試験を行い、苦手な箇所を認識してもらいました。

その苦手な箇所を克服できるように、個人々に沿って先生方が指導していくやり方で進めました。

また、教材は解説、解答付きのものを各生徒に配布し、その解説を見て自力で解決できるような学習法を指向

しました。

最終日には、初日と同じテストを行い学習の効果を各自確認してもらいました。

参加者の65%に自立学習教室の成果を確認

短期間の特訓ではありましたが、苦手な単元を集中的に学習する事の大事さを確認することができました。当然の事ですが、出席率が高い生徒ほどその効果は顕著なものとなっています。

前半後半の間の軽食タイムに盛り上がり

今年は、前半後半の間の20分で、軽食タイムを設けました。

数種類のパンあるいはおにぎりや飲み物を一つずつ全員に選んでもらい、フリースペースで先生方と一緒に食べることにしました。

初日は小学5年生から順に好きなものを選んでもらい、次の日は小学6年生からと選ぶ順番を変え、公平さにも配慮しました。

小学生などは、「今日はメロンパン」、「明日は最終だからメロンパンは残っていないかな」と話しながら先生と机を囲んで食べていました。

今後へ向けて更なる充実を

自立学習教室も2年続け、色々な課題が見えてきました。

開催時期として、夏休みの初めがいいのか終わりがいいのか、教材の量は適当か、期間は適当か、指導していただく先生方の確保等々。

これらの課題を一つずつ解決し、さらなる充実を図って行きたいと思っております。

夏休み自立学習教室

- ・授業風景 算数・数学
- ・英語は別室で実施しています。
- ・みんな集中して勉強しています。



【先生から】

《新任の先生より》

本年二学期から、二名の先生が新たに加わってくださいました。

◆ST先生◆

【担当 数学 中一男2名】
10月から中2の数学を担当しています。

3年前にフルタイムの仕事を引き退いたのを機に、子供に勉強を教えるボランティアに参加しました。

私は技術者で教師等の経験はなく、40数年前学生のとときの家庭教師の経験しかありませんでした。

しかし海外赴任が十数年そして頻繁な海外出張で外国と接する機会が多かったことから、外国語を母国語とする子供たちが勉強する手助けをするNPOに興味を持ち、思い切ってその活動に参加しました。

その活動の中で子供たちの成長を目のあたりにして私自身得る事が多く、ボランティアをしていると言うよりは、日々活力をいただいで

いるとの気持ちで活動してきております。

本年9月末に完全に仕事を引退したことで自由な時間ができるようになりまし
た。前々から日本人の子供たちにも勉強の手伝いを必要
としている子供が多くいる
事を色々な機会に、目に耳に
する事が多く、非常に興味を
持っていました。武蔵野市に
住んでいますので出来れば
近場でそのような場所がと
検索したところ、「稲門寺子
屋西東京」がヒットしました。
これを縁に皆様と頑張っ
てこのNPOをより立てたい
と思います。宜しく願いま
します。

◆TY先生◆

【担当 英語 中一男1名】

秋から東伏見のふれあい
プラザで英語を担当させて
いただくことになりました。

アメリカの大学で英語教
員の資格を取り、寺子屋さん
以外でも教えています。

いつも生徒さんたちに言
うことは、「英語以外の事でも
私が持っている全ての知識を
盗むつもりでいて下さい」と
いっています。これは私が大
学生の時に、尊敬するハスマ
ン教授がおっしゃって下さ
ったことです。

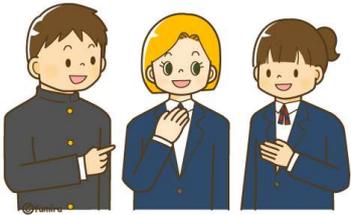
生徒にとって一番の幸せ
は良い師に巡り会うことだ
と教えて下さいました。将来
何になりたいのかわからな
かった私に、教師を薦めて下
さったのもハスマン教授で
した。

私もハスマン教授のよう
に生徒の夢を叶えられるよ
うな、将来の道を生徒が自分
自身で見つけられるような
先生になれるように、努力を
したいと思っています。

まだまだ未熟な私ですの
で、先生方のご指導をよろし
くお願いいたします。

生徒の「英作文」

寺子屋塾で、英語の授業の
一環として先生のご指導の
下、生徒に英作文を書いても
りました。



担当のKS先生より

今年度は中三の男子3名のクラスで授業を担当しています。高校入試という明確なゴールがあるのでみんな一生懸命学習しています。その熱心な学習態度は他の先生方も感心しています。もちろん来年春三人揃って希望の高校に入ることが現在の目標です。しかし、それだけでなく、私はさらに自分がどんな大人になって成長したいかと目標を掲げ未来を見据えて頑張っていってほしいとも思っています。

「Spain」 中学三年 M I

I want to go to Spain. I want to go to Barcelona. I'm interested in Barcelona. I want to play badminton there because Spanish badminton players are strong. I want to see the Sagrada Familia. Because the Sagrada Familia is the world heritage. I want to eat paella and ham in there because Spanish paella and ham are very delicious. I want to eat and buy a lot of foods there.

私はスペインに行きたいです。私はバルセロナに行きたいです。私はバルセロナに興味があります。私はバドミントンをやりたいです。スペインはバドミントンが強いからです。私はサグラダファミリアが見たいです。サグラダファミリアは世界遺産だからです。スペインのパエリアとハムが食べたいです。スペインのパエリアとハムがとてもおいしいからです。私はスペインのおいしい食べ物を買って食べたいです。

「Christmas」 中学三年 SK

I like Christmas than New Year's. I have two reasons. First I can get presents. Second I can eat Christmas cakes. It is delicious. So I like Christmas. I want to enjoy Christmas.

私は新年よりもクリスマスの方が好きです。理由は2つあります。一つ目はプレゼントがもらえることです。二つ目はクリスマスケーキを食べることができることです。それはとてもおいしいです。だから私はクリスマスが好きです。私はクリスマスをたのしみたいと思います。

「English for me」 中学三年 I Y

I like English. I have two reasons. First studying English is interesting for me. Second I'm happy when I talk the people in English. So I want to study English hard and I want to study abroad.

私は英語がすきです。理由が二つあります。一つ目は英語を勉強することは私にとっておもしろいからです。二つ目は英語で人と話すことが楽しいからです。だから、私は一生懸命英語を勉強し、留学したいです。



生徒の声

《先輩から》

【現在 高校一年 女子】

寺子屋受講

中一：数学 英語、中二：数

学、中三：数学 英語

(1) ハロウィン、クリスマス

とイベントがある月には、授業後にパーティ的な

ことがあった。

(2) 授業中はみんな集中し

ていて、集中ができたころ

に休けい時間をくれる。

(3) 自転車だと冬は寒い。

(5) 茶道部。

(6) 保育士、幼稚園の先生。

(7) 友達とあそんだり、

色々な所に出かけること。

(8) 授業の進むスピードが

速いので、ついていくこと

がきつい時もあるが、それ

は後で先生に聞くことに

している。

(9) 塾の授業は苦しかった

りめんどくさい時もある

が、高校に入れば新しい

友達と遊んだり楽しいこ

とも出来るので積極的に

塾の勉強に取り組んだ方が
良いと思います。

- (1) 寺子屋に通っていたころの思い出
- (2) 寺子屋で「いいなあ」と思ったこと
- (3) 寺子屋で「やだなあ」と思ったこと
- (4) 寺子屋について、お家の人が言っていたこと
- (5) どんな部活をしていますか？
楽しいことは？ 大変なことは？
- (6) 大きくなったら、なにになりたいですか
- (7) 今一番楽しいこと
- (8) 今こまっていること
- (9) 現在寺子屋塾に通っている後輩へのメッセージ
- (10) その他 どんなことでも

【現在 高校一年 女子】

寺子屋受講

中三：英語

(1) イベントとか先生たち

からおかしをもらえたり、

話せて楽しかった。

(2) 自分がやりたい事、勉

強したい事を優先してで

きる。

(7) 学校での行事。

(9) 先生たちが面白いから、

自分からやってみよう！

って気持ちになるから

めっちゃ楽しいから 無

《お母さまより》

在学中は大変お世話にな
り、ありがとうございます。
ました。

指導者勉強会（八月）

「生徒への指導をさらに改
善する」ことを目的として、
指導者勉強会を、実施しまし
た。

・講師：福岡市元小学校校長

門 悟先生

（これまでも、指導者勉
強会講師、ふれあい通信へ
のご寄稿等でお世話にな
っています。）

・内容：「今後の教育の方向」
「指導する上で困ってい
ることの相談」等

指導者勉強会の様子



授業風景

授業風景 「英語」

ハロウィンをテーマに



授業風景 「算数」
やわらかく算こ



編集後記

今回も、皆様から貴重な原
稿をいただきふれあい通信
を発行することができまし
た。ありがとうございます。
来年がよい年でありますよ
うに！

編集委員

高橋薫

関口和子